

# 海外展開をサポート 地元企業の貿易や



新田 裕子さん Yuko Nitta

2002～2003年 ニース・ソフィア・アンティポリ大学（フランス）留学  
2004年 国際基督教大学教養学部卒  
2007年 成蹊大学法務研究科（法科大学院）修了  
2010年 弁護士登録、宇都宮中央法律事務所入所  
2014年 フォードム大学・ロースクールLLM（ニューヨーク）修了  
2014～2015年 ロダイク法律事務所（シンガポール）  
2015年 ニューヨーク州弁護士登録



## 弁護士を目指した理由

大学ではフランス美術史を勉強していました。画廊でのボランティアで、絵画の売買代金の不払いなどのトラブルを目にしました。周りにそのような問題の解決ができる人が見当たらず、法律を勉強すれば何かできるのでは、と思ったのがきっかけです。女性として自立した生活を送るためには資格を持っていたほうがよいという現実的な考えもありました。



## 今の仕事を選んだ理由

司法試験合格後の修習地が宇都宮でした。修習中に、現在の所属事務所の代表弁護士に出会い、「今後、栃木県でも海外展開する企業が増えるだろうからその対応ができる事務所にしたい」という話をされました。もともと海外に興味があったこと、そして、新しい業務を開拓していくという面白さに特に惹かれ、就職を決めました。



## 現在の仕事内容

地元の企業が、海外の企業と貿易などの取引を行う際に使う英語の契約書を作成すること、外国に子会社などを作る際の法的支援、外国で訴訟や仲裁を行う場合のサポートなどを行っています。関係する国は、アメリカ、ヨーロッパ、アジアなど様々ですが、どの国の案件でも基本的には英語で対応しています。

外国法の正確な知識が必要となる案件も多く、その場合は、外国の弁護士と協力して案件を進めます。地元企業である依頼者に対し、複雑な契約書の内容や細かい案件の進捗を分かりやすく正確に日本語で説明し、安心して海外展開をして頂くことも重要な仕事の一つです。



## 仕事の魅力

地元企業を支援するという非常に「身近」な側面とともに、仕事の舞台は世界という「グローバル」な側面もある二面性、その2つを繋げられるのはこの仕事の魅力だと思います。色々な国の法律、背景となる文化・歴史に触れる

機会も多いです。

地方の企業と、海外展開プロジェクトを最初の段階から議論を重ねて一緒に作り上げていくときは、プロジェクトチームの一員となる充実感があります。海外の相手方企業や、共同する外国の弁護士とは、スピード感のあるやり取りが多く、新しい発見や刺激が絶えません。

地元企業の海外展開が成功し、商品が外国で実際に売られているのを見ると、素直に嬉しいと感じます。



## 国際弁護士を目指す方へ

近年、大都市の企業だけでなく、地方の企業も新たな市場を目指して海外展開を進めており、この傾向は今後ますます強くなると思います。その支援は、地方の経済活性化につながり、ひいては日本全体の活力に寄与するという社会的意義もあります。

海外展開に慣れないクライアントの不安を汲み取り、先を見越しながら物事を丁寧に説明できる気配り、案件に関わる複数の人とのコミュニケーション、コラボレーションが重要です。この分野は、弁護士の業務分野としては比較的新しい分野なので、若い方がユニークなアイデアをもって活躍する場はたくさんあると思います。興味を持って頂けた方には是非チャレンジして頂きたいです。